



丸森中学校だより

令和7年1月9日(木)

水^{きらめ}煌^き緑^も萌^ゆ

〒981-2167 宮城県伊具郡丸森町字田町南 24-2 ☎0224-72-2145 FAX 0224-72-1516

志をもって学び続ける生徒の育成

- 確かな学力：「志学」
- 豊かな心：「至誠」
- 健やかな体：「修練」

「新年を迎えて」 校長 軽部敦子

明けましておめでとうございます。2025年、穏やかな巳年のお正月を迎えられたことと思います。冬休みを終えて子供たちが元気に登校しました。冬休み中、ご家庭や地域の中で見守られながら、年越しの準備、丸森独特の年末・年始の行事に触れたのではないのでしょうか。そして、各地区、地域関係者の皆様から年賀状をいただき、大変ありがとうございました。

冬休み明けの全校集会では、「寛容な心」ということについて以下のような話をしました。

1年の始まり、新しい目標を立てましたか？目の前に達成しなければならない目標もありますが、1年を通して取り組みたいことを自分の中で意識し実践できたらよい年になると信じています。今年は改めて「相手を尊重する」ことを意識した1年にしたいと思い、皆さんに伝えたいと思います。

みなさんは、相手と話す時、どんなこと意識しますか。相手を見る、相槌を打つ、相手を否定しない、話をさげざらないなど、意識していないかもしれませんが、相手を尊重する気持ち、まずは相手を受け入れることが前提にあると思います。人にはそれぞれ個性があり、自分と合わない人がいるかもしれません。でも、まずは相手の立場・状況を理解して、共感的に話を聞くことです。「よく聞く」ことは、相手を尊重する気持ちがなければできません。否定したり、上げ足を取って話の腰を折ったりすれば、必ず自分自身に返ってくると思います。失敗した人を貶めたり、努力している人を馬鹿にしたりすることなどあってはならないことです。相手を尊重できない人は、相手からも尊重されません。

「寛容な心」とは相手や状況を尊重して受け入れ、自分なりの考えをしっかりと持って意見を伝えたり、行動したりすることだと思います。安易にうなずいたり、後から陰で批判したりするようでは寛容な心は育れません。また、努力、失敗や苦労の経験も、相手を尊重できる寛容な心が育つでしょう。みなさんはこれからいろいろな経験をしていきますが、与えられた状況の中で、いろいろなことを素直に受け入れて精一杯頑張る時期が人生の中では必要です。苦手なこと・やりたくないこともあります。例えば、受験勉強でしょう。来るべき試験日まで粛々と準備・努力をすることは、合格がゴールですが、努力の過程が自分にとってプラスとなり、頑張った結果得られたものは失敗も含めて、将来のよりよい人生につながるはずです。

さて、今年は、巳年、干支は蛇です。干支の話では、蛇は龍と一緒にゴールを目指していましたが、神様の遣いとしてはたらく龍を敬った蛇が、龍に先を譲ったために干支の順番が「辰巳」になったそうです。また、龍は空想の生き物で、長生きした蛇がやがて龍になると言われ、蛇は大きくなる存在として信じられていたそうです。今年の干支の蛇、脱皮を繰り返す蛇が、着実に成長するという意味にあやかり、皆さんが自分の今の状況を受け入れながら相手を敬い、目標に向かって努力する一年であってほしいと思います。

今年も職員一同、昨年の反省を生かして今年度のまとめに励んで参ります。皆様のご理解・御協力をよろしくお願いいたします。

いじめ等問題対策委員会開催

8日、丸森中いじめ等問題対策委員会を開催しました。委員は、町主任児童委員、警察関係の皆様、PTAの代表の皆様と職員です。話し合いでは、「丸森中学校いじめ防止基本方針」(HP参照)について説明、本校のいじめ未然防止の取組(行事の充実やアンケートによる実態把握、相談しやすい環境づくり等)を報告しました。現状として、今年度は軽微なものも含め5件のいじめを認知し対応していること、また、校内「ほっとルーム」での支援や町「ケアハウス」との連携について報告しました。情報交換・質疑では、委員の方から、保健室の利用状況や卒業後の進路について質問、子供たちの言動に注意深く丁寧に接してほしいとの要望、学校や家庭で対応に苦慮する際は警察との連携により相談窓口の紹介についても情報提供がありました。参加いただきました委員の皆様、ありがとうございました。今後の教育活動に生かしてまいります。